別紙４

事　業　内　容

※別紙４は全体で10～15枚程度としてください。

記入用の枠の大きさは必要に応じて変更してください。必要に応じてグラフ、図表等を用いていただいて構いません。過度に文字サイズや行間を変更しないでください（基本はMS明朝１２ポイント、行間デフォルト値（１行））

１　研究開発の背景とこれまでの取り組み　　※ １ は合計で２ページ以内

１（１）研究開発の背景

・自社の沿革（申請内容に関連する内容のみ）

・自社既存製品のシェア、成長率、競合他社の状況

・川下企業が抱える課題やニーズ

・市場ニーズの変化 （例：デジタル化）

・法律や制度改正　 （例：インボイス・電子帳簿保存法）

・業界の動向　　　 （例：リードタイムの短縮化を求められている）

・技術以外の課題 （例：採用難、人材育成、事業承継、働き方改革）

※技術的な課題については、２（１）に詳しく記入してください。

１（２）同研究における申請者のこれまでの取り組みや関連技術（ノウハウ含む）を活かした内容

本研究に関連する、これまでの研究開発（または製品開発）、必要な調査や予備試験、申請者の強み等について記入してください。

　　※貴社のこれまでの研究開発や強みのうち、２以降に記入する申請内容に関連

する内容のみを簡潔に記入してください。

　　・関連技術の概要と現時点の到達点

　　・関連製品の販売実績

　　・過去の採択結果、論文掲載実績等

　　・知財関係（取得済み特許等）

２　研究開発内容

２（１）研究開発の課題と目標

本申請における研究開発の目標を、現状の状況（性能面や価格面等）と比較し、数字を用いながら具体的に記入してください。また、研究開発前後での技術等の違いやその新規性・革新性がわかるように、文中に下図の比較表を用いて記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 従来技術 | 研究開発後の技術 |
| 比較に用いる項目について、現状や課題等をわかりやすく記載してください。  （図表や具体的数値を用いる）  ・（例）技術について  　　　高圧時の耐久性確保  図や表など  高圧（40MPa）で電子デバイスが損傷せず通信可能  　　↓必要に応じて比較する項目を  ↓追加・詳細を記入してくださ  ↓い。  ・（例）性能について  ○○○○○  〃    ・（例）価格について  　　　○○○○○  〃 | 従来技術で記載した比較項目について、本事業での目標となる完成後の成果を記載してください。  （図表や具体的数値を用いる）  ・（例）技術について  超高温超高圧時の耐久性確保  図や表など  超高温（250℃）、  超高圧（80MPa）で電子デバイスが損傷せず通信可能  ↓必要に応じて比較する項目を  ↓追加・詳細を記入してくださ  ↓い。  ・（例）性能について  ○○○○○  〃  ・（例）価格について  　　　○○○○○  〃 |

　　※本申請書の中心となる部分です。質、量共に充実させてください。

　　※事業化目標や販売目標は、「４　研究開発の事業化計画」に記入してください。

２（２）研究開発目標達成に向けた研究項目の設定

研究開発目標の達成に向けた研究項目・課題を設定し、その課題の解決方法・実施方法を記入してください（連携体やアドバイザーがいる場合は、役割分担（誰が担当するのか）についても記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目１ |  |
| 研究内容 |  |

・研究項目1-1

・実施方法

・担当機関

・研究項目1-2

・○○・・・

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目２ |  |
| 研究内容 |  |

・研究項目2-1

・実施方法

・担当機関

・研究項目2-2

・○○・・・

※項目が足りない場合はコピーして追加してください。

※記載例

|  |  |
| --- | --- |
| 研究項目１ | 高温高圧に耐える素材の選定 |
| 研究内容  （課題と解決方法） | 現在の素材では、110℃を超えると溶解・蒸発してしまうため、最終製品の基準を満たしていない。そこで、新たな素材（インコネル（ニッケル合金）や炭素繊維複合材料等）を開発し、要件を満たす材料を選定する。 |

・研究項目1-1　　材料の選定と試作

・実施方法　　　　いくつかの材料候補を選定し、３Dプリンターで造形し・・・

・担当機関　　　　▲株式会社　と　（未）■株式会社

・研究項目1-2　　材料の評価

・実施方法　　　　高温高圧下での○○試験を行い、材料を評価する。具体的に

　　　　　　　　　は・・・・・

・担当機関　　　　石川県工業試験場

３　研究開発スケジュール及び実施体制図

３（１）研究開発スケジュール

「２（２）研究開発目標達成に向けた研究項目の設定」に記入した研究項目ごとに研究実施スケジュールを記入してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　月  研究項目 | 令和7年  〇月 | 令和7年  〇月 | 令和7年  〇月 |  |  |  |
| 研究項目1-1  〇〇の確立 |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目1-2  〇〇の選定 |  |  |  |  |  |  |
| 研究項目2-1  〇〇の検証 |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

※項目が足りない場合は適宜追加してください。

３（２）実施体制図

　①研究開発の実施体制について、各機関の具体的な役割が分かるように図示してください。(別紙5事業予算と対応させてください。)

|  |
| --- |
| （例示）    　　　　　　アドバイザー（市場ニーズの提供）    　　　　　　　　　 　 市場ニーズの提供・製品評価  　　　　　　　　　　　　　　　共同研究  　　　　　代表者（〇〇株式会社）　　　　　　　　　　　大学・公設試験場等  　　　（試作品の設計・製作、製品化）　　　　　　　　　　（評価試験の実施）  　　　共同研究    　　　　　連携体企業Ａ  　　　　（試作部材の成形の担当） |

４　研究開発の事業化計画

４（１）研究開発成果に係る製品等の概要

研究開発成果に係る製品等の名称、概要（特徴、事業者、用途等）を製品等ごとに記入してください。

以下のような内容を、数値等も用いて具体的に記入してください。

・製品等の名称

・製品等の想定されるユーザー

・機能・規格・特徴など

・知財戦略

・製品等が想定する市場規模・市場占有率

・販売戦略、販売体制（開発事業者、販売事業者名、販売方法等）

４（２）地域産業への貢献

地域産業の発展（雇用面･地域サプライチェーン･人材育成等）に資する計画であるかについて記入してください。

４（３）事業化スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| スケジュール | 事業年度 | 令和 年度 |  |  |  |  |
| サンプルの出荷・評価 |  |  |  |  |  |
| 追加研究 |  |  |  |  |  |
| 設備投資 |  |  |  |  |  |
| 製品等の生産 |  |  |  |  |  |
| 製品等の販売 |  |  |  |  |  |
| 売　上　見　込 | 売上高（千円） |  |  |  | \*,\*\*\* | \*\*,\*\*\* |
| 販売数量 |  |  |  | \*\*台 | \*\*\*台 |
| 売上高の根拠 |  | | | | |

※製品等が複数ある場合は、製品等ごとに記入してください

５　専門用語等の解説

専門用語・略語等についてそれぞれ簡潔に解説してください（異業種や他分野が専門の方にも分かるように記入してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| 専門用語・略語 | 解説 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

※適宜、行を追加・削除してください。